

社内報 5 月号

株式会社NITTOH

経営方針発表会

毎年恒例の、グループ経営方針発表会が 4 月 8 日名古屋駅前の通信会館で行われました。昨年度のグループ全体の実績報告と現況についての説明の後、今年度の方針、目標の説明が行われました。昨年は、売上、利益とも数字上では、前年度を下回りましたが、消費税増税の駆け込みと反動減をそれぞれ前々年と前年から割り引いて考えると、施工体制の整備や拠点の拡充などは計画どおり進めることができ、デアール店での販促も軌道に乗り始め成長はできてると思います。残念なことは昨年度、交通事故が多数発生したことです。削減に向けた取り組みをすでにいくつか実行しましたが、今年度以降、結果となって現れてくれることを願っています。一方、工事のクレーム、弁償に関しては大幅に削減されました。これは、毎年の地道な取り組みが、実を結んできたのだと思います。協力業者の方々とも協力業者会を結成してサービス向上、満足度向上を図ろうと一緒に取り組んできたことが着実に実を結んでいるように思います。協力業者の方々も朝早くから夜遅くまで、頑張ってくれています。当社の社員、協力業者さんたちは、謙虚に良く働く習慣が身についていると思います。これが、何よりの会社の力ではないかと思えます。ただ、今後の発展を考えた時には、さらに良い企業風土を構築して、若い人が育ち、企業業績向上をめざし自己管理ができて主体的に行動できる社員をもっと増やしていくことが必要です。厳しい中にも心の通い合った良い組織を作って、施工エリアの拡大や大型工事への対応など、まだまだ、業界や他社の動きを見ていると当社に足りないことはたくさんあります。

例年は、優秀部門の表彰があるのですが、昨年度は該当なしと、ちょっと寂しい結果となりました。個人表彰は、懇親会の席で行われ、以下の方が表彰されました。現場の実際の施工や施工管理、施工指導で素晴らしい活躍をされている社員です。

エコエネルギー課	江湖友男さん
リニューアル工事業部	中村友哉さん
東京営業所	日影 茂さん
東京営業所	近内淳平さん

研修会では、メンタルヘルスに関するものと稲盛和夫さんの「ど真剣に生きる」を鑑賞。当社の考え方と「ど真剣に生きる」の考え方は一致するところであり、皆すつと心に入ってきたのではないでしょう。私たちが進むべき道をもう一度確認できたような気がします。

懇親会では、5 人の新卒入社社員が、紹介されました。若く初々しい仲間が加わりました。



協力業者会総会を開催

以下の通り協力業者会の総会、安全大会、研修会が開催されました。早いもので第 9 回の総会となりました。

- 5 日 関西 NITTOH 協力業者会
京都センチュリーホテル
- 11 日 東海・東海法人 NITTOH 協力業者会
今池ガスビル
- 26 日 関東 NITTOH 協力業者会
京王プラザ多摩ホテル

昨年度は、東海で 2 件の労災事故が発生しました。高所作業と玉掛作業によるものでした。工事が大型化する中で、こうした作業は、増加傾向にあります。特に当社が元請となる工事では、当社が厳しく管理する必要がありますが、法人部門の大手元請さん管理の工事に比べ、安全管理の未熟さが露呈した結果となりました。こうした部門の社員の安全管理意識、知識の向上を目指し、しっかりとした対策が必要です。

研修会では、それぞれ講師の方をお招きし、講演をしていただきました。関西では、阪口由美子先生（ヒューマンヘルス研究所所長）をお招きし、心身の健康に関し、食事、姿勢、メンタルの面でお話していただきました。規則正しい食事の大切さ、食育の重要性を強く感じました。挨拶、声の出し方、表情なども食事や姿勢とすべて結びつき、心の問題にもつながっているとのこと。メンタルストレスを抱えている方、そうした人が身近にいる方、また、小さなお子様がいらっしゃる方には、とても有意義なお話でした。東海・東海法人では、川村妙慶先生（僧侶、アナウンサー）に 100 倍楽しくなる仕事と人生について、講演していただきました。とても、素晴らしいお話で、若い職人さんたちが多く、今まで仏教の教えとかあまり興味のない方も多かったのではないかと思います。皆、とても真剣に聞いていました。成人するとは、「人に成る」のであって、自分になるわけです。出会わなくてはならない人は、自分の目では見ることのできない自分自身。人をかえることなどできない。まず承認することの大切さ。「これからがこれまでを決める」。人にやさしくなれて、前向きに生きられるお話でした。東京では、ペップトーク普及会会長でスポーツトレーナーの岩崎由純先生にお話していただきました。言葉の重要性を感動的なスポーツの実話をもとにお話していただきました。障害者スポーツやロス五輪のマラソンのお話は、感動的でした。私たちは、普段何気なく言葉を使っていますが、人に勇気を与えることもできれば、夢をつぶすこともできるということです。協力業者さんの中にも子供のサッカーチームを教えている人もいたり、とても良いお話でした。私たちは、言葉の大切さ、重要性を認識し、普段からポジティブな言葉を使っていけば、私たちの細胞がそれを認識し良い方向にいきます。どの先生方も、ホームページがあり、書籍も出されていますので、調べてみてください。



阪口由美子先生



川村妙慶先生

コラム 続けることの大切さ

4 月から新しい年度が始まり、家族、お友達などで、入学や入社など新たなスタートを切った人は多いことと思います。選んだ道が、当初から思い描いていた念願の道であったというようなことは、そう人生にはないものです。進学をするときでも、第 2 希望だったり、思いもかけずに入学することになったり、会社に入るときやアルバイトをするときもたまたまタイミングよく求人がでていたことがきっかけだったり。また、希望どおりの道に進んでも、夢に見ていた道はこんな道ではなかったはずということも多く、また、自分の実力のなさを思い知らされ挫折感を強く感じてしまったり。しかし、大切なことは、継続することだと思います。自分だけが不幸に思ってしまうことがあるかもしれませんが、中には自分なんてと投げやりな気持ちになることもあるかもしれませんが、誰にでも同じようなことは起きていて、そのことをどうとらえるかが、違っているだけです。悲しい気持ちでも継続しているうちに、その道が自分の道と思える時がくることはよくあることです。目の前のことに一生懸命努力することで、仕事の楽しさもわかってきます。日々、単純な同じことの繰り返しのように思える時があるかもしれませんが、ただ、その道で毎日、一日も休まず大きなミスもおこさずに長年勤めあげれば、それだけで素晴らしいことです。休まないことは、健康管理に毎日気をつけていたから達成できるわけで、ミスをしたことも、作業改善を繰り返し、集中力を維持してきた結果です。仕事において、評価されるのは、ある程度年齢を重ねてからがいいのかもしれませんが、だからと言って、のんびりしていいということではありません。毎日、一生懸命努力し、継続的な努力が、人を磨き、人から信頼される唯一の方法です。転職を繰り返している人はやはり、上手いっていない場合が多いです。転職すること自体が悪いわけではありませんが、自分の中で継続しているものをもっていれば、いいと思いますが、はやりのことや待遇など、周りの目を気にしていると充実感を得るのは難しいようです。望んでいない道であったなら、神様の働きかけでその道に進んだわけで不思議なありがたい縁があったわけです。どう考えるかで、後の人生が変わってきます。「これからがこれまでを決める」という訳ですね。何か趣味のことで、健康管理上のことで、毎日するというのは、とにかく効果があるようです。体が感覚を忘れないうちに継続することでどんどん感覚が研ぎ澄まされていきます。人間の能力は不思議なものです。

施工事例紹介

- 施工場所 富山県
- 工事名 工場新築 塩ビシート防水工事
- 建物 某工場
- 施工面積 20,000 強㎡



トプライト施工



■担当：北陸営業所 伊藤雅和

3 月中旬から屋上屋根の防水工事が着工いたしました。当社が以前から施工を得意とするデッキ下地に断熱材を敷き込みその上に塩ビシートで防水する工事です。

今回は、工場の屋根を施工するので施工面積がかなり広く職人も多いときは 20 人くらいになります。朝は元請けの朝礼から始まり、その後、当社で KY（危険予知）を行い現場作業に取り掛かります。

工事中は当社の作業以外の工事との取り合いや納まりを元請けや他業者と打合せをしながら工事しています。

最近はこの工法を住宅の屋根でも施工されるお施主様が増えてきました。ご興味のある方はお問い合わせ頂きましたらご説明させていただきます。宜しくお願い致します。

入社社員紹介

★杉山 明夫 内部監査室 室長 65 歳

趣味：サイクリング、低山ハイク、キャンプ

「内部監査業務を通して経営目標の効果的な達成を目指します。」

★西部 葉 法人事業部 設備課 22 歳

趣味：カフェ巡り、輸入雑貨集め

「一日でも早く役に立てるよう頑張ります。」

★奥村 三津矢 リニューアル工事部 主任 48 歳

(日本住宅耐震補強(株)より転籍)

資格：一級建築施工管理技士、一級管工事施工管理技士、
一級土木施工管理技士、二級建築士

趣味：ゴルフ、釣り

「今まで築いた経験をもとに会社に対して貢献出来るようにがんばります。」

ちょっと一言

「愛知の運転は極めて合理的」

営業推進部

萬代 龍一



皆様、お疲れ様です。入社 1 年 4 カ月、営業推進部の萬代です。改めましてお見知りをお願いします。皆様ご存じの通り、愛知県は昨年交通事故死者数が全国一位です。私は夏目漱石の坊っちゃんて有名な愛媛県松山市で高校まで育ちましたが愛媛県どころか四国 4 県よりもその数は多く、また一昨年から何ら改善されてない残念な結果となっています。では、愛知県の人間は他県と比べて運転が荒いのでしょうか？私は決してそうではないと思います。むしろ運転技術は高く、またこんな合理的で素晴らしい地域はないと考えています。

例えばあなたが普通の片側 1 車線の道を走っていたとします。交差点に差し掛かりました。信号は赤。2 台ほど無理可能な右折レーンがあるごく普通の小さな交差点です。あなたの前に既に 2 台の直進車 + 2 台の右折車が信号待ちしています。さてあなたならどの辺に止めますか？ここで他県の人間であれば片側 1 車線の真ん中に止めます。後ろからも右折車が来た場合あなたの丁度後ろに止めるはずで。ところがなんと！愛知県人は道路の左側に寄るのです。(この場合路側帯を越えることも常です)この行為により右折予定の後続車は直進車が多かろうと後ろ(直進車の)に並ぶことなく最短で右折可能となるのです。なんだそんなことか！と思っただけでらっしゃる方も多いのでは。こんな習慣は全国どこ行ってもここだけだと思ふのです。非常に合理的で渋滞解消にも極めて有効です。

さてこんな合理的で運転技術の高い愛知県人ゆえの極めて残念だなあと思う習慣があります。それはまるで散歩するがごとく運転に慣れているがゆえに、ほとんどの人がウインカーを出さないのです。右左折のとき・車線変更のときあなたはどうか？出してます？出さないときがあるでしょうか？ちなみに他県だと 100 %出すのです。たとえ周りに車が走ってなくても出すのです。一見非合理的ではありますが、車の運転は習慣なのです。常に出してないと出し忘れが発生するのです。二台の車が偶然出し忘れたとき…そして偶然同じ方向に足を踏み出したとき事故は確実に起きます。しかも致命的な事故が。皆様には率先してウインカーを出すことをお勧めします。何事も習慣です。



★Happy News★



お誕生おめでとうございます

法人建設課 森島さん 女兒誕生(双子)

